

# 新栄だより vol.24

世界遺産白川郷 御宿「結の庄」 2019年1月にプレオープン



▲合掌棟(受付棟)のバス

## 白川郷御宿「結の庄」様新築工事

世界遺産白川郷の合掌造りを意識した建設工事の電気工事を担当させていただきました。

白川郷の現場に常駐して1年という長い工事でしたが、今年11月に完成を迎えます。

今回の工事の大きな特徴は、雪に備えた急勾配の屋根と、建物が4棟（合掌棟・お食事処棟・宿泊棟・浴室棟）に分かれています。鉄骨造、木造、鉄筋コンクリート造の構造の造りになっている点です。私は今まで特に木造の経験が少なかったため、木造の施工方法を勉強させていただきました。

電気工事で一番工夫した所は、お食事処棟の照明です。白川郷といえば豪雪地帯で有名ですが、屋根が4寸勾配で、かつ天井が吹抜けとなっています。この空間を美しく照らす方法をお客様と相談しながら、取付位置や照明の角度を調整しました。また、受付棟正面のライトアップも見所です。お越しの際は、観光、温泉、お食事を楽しみながらぜひ照明も注目していただけると幸いです。

大きな現場を施工していくことに不安がありましたが、アットホームな現場環境で1年間楽しく施工をさせていただきました。施工はうまくいくこともあれば、失敗もありました。それを支えていただいた社内の皆様には本当に感謝しております。この現場での経験は、今後の電気工事の施工において大きな自信になると思います。次の現場でもお客様にご満足いただけるような施工を目指して頑張っています。ぜひご家族でお出かけ頂き、新名所をお楽しみ頂けたら幸いです。

(工事部・津幡)



▲点灯試験中です

(上司より一言)

当社現場代理人(津幡)は入社5年目で現場経験も浅い中、今までの建物とは異なる事も多く、施工面で非常に苦労したと思います。電気業者も4社入っており職人さんにも色々とお助けをもらいながら工務店の方・設備業者の方と日々の打合せを行い、問題点等は早い段階で解決出来ていたと思います。

竣工まで日数は少ないですが、最後まで頑張ってください。

今後もこの現場で培った経験や知識を活かして頑張ってください。

(工事部・盛田)



▲お食事処棟



▲宿泊棟廊下



▲浴室棟

## 創業40周年記念講演会 大谷由里子様講演「こころの元気」のつくり方

6月30日(土)、富山国際会議場にて志縁塾の代表取締役大谷由里子様へ創業40周年記念講演会の講演をして頂きました。  
大谷様は元・吉本興業のマネージャーを経験され、故・横山やすし氏のマネージャーを務められ、宮川大助・花子、若井こすえ・みどりを次々と売り出した「伝説の女マネージャー」として活躍された方です。2003年に「日本を明るく元気にしたい!」という思いから、賛同した26人の方々の出資を受け、志縁塾を設立されました。「笑い」を用いたユニークな人材育成法や、最近では企業・自治体を中心に「自立・自走」型の人作りを精力的に支援されています。今回は、「こころの元気」のつくり方について講演をして頂きました。

講演会のアンケートの結果です。一部紹介致します。

- ・4パターンの性格分類で、自分が支配型に当てはまり、気を付けたいと思った
- ・人にはタイプがあり、見極める事が大事
- ・コミュニケーションは共通点を見つける事ということを変えて認識させられた
- ・本来必要なココロの元気は「笑い」というキーワードが深く関連していることを考えさせられた
- ・「笑い」を用いたコミュニケーションが重要だと思った
- ・気づいていない自分に気づかされた
- ・講演が面白くて楽しくて、時間があっという間に過ぎた



▲人のタイプ分けは4パターン(支配型・企画型・分析型・援助型)あります

## 第23回資質向上研修会 こころの笑方箋:職場のメンタルヘルスとユーモア

9月29日(土)、当社大会議室にてNPO法人健康笑い塾 主宰・中井宏次様に講演して頂きました。  
中井様は全国の皆様に生活や仕事における笑い(ユーモア)の重要性を啓蒙し、「笑いとしあわせ」をお届けする笑配師として活動されています。  
今回も社員・協力業者の方々と共に講演をして頂きました。なぞなぞや小断・駄洒落を取り入れながらこれからの健康経営の3大要素・笑い(ユーモア)の効用と職場のあり方・笑い(ユーモア)の実践をお話して頂きました。

講演会のアンケートの結果です。一部紹介致します。

- ・心と脳が自然体でいる事の大切さを改めて教わった
- ・ハイタッチひとつで心が開くのを実感でき、皆が笑顔になった所が面白く、凄いやと思った
- ・メンタルヘルスに笑いが大事なことがよく理解でき、実践方法も分かりやすく教えて頂きよかったです
- ・笑いを職場に取り入れコミュニケーションをとっていききたい
- ・笑いを交える事で人生にゆとりが出来るかもしれない
- ・周囲に好影響を与えるので、笑いは大事だと思う
- ・職場や家庭、お客様に接する時などに役立てるように行動したい



▲これからはGS(整理・整頓・清掃・清潔・躰・Smile)です

今回2つの講演を受講させて頂き、共通するところが「笑い」と「ハイタッチ」でした。笑う事で元気になる。相手を元気にさせる。そして「ハイタッチ」する事でお互いに笑う。コミュニケーションが取り易くなる。大変参考になる講演でした。

大谷様の講演では、わらいはゼロを1にする。笑う事で元気になる。自分で考えて行動する事の重要性、また相手を認めて引き出して応援する・コミュニケーションの取り方や相手のタイプ分けで仕事の振り方を変えるなど、内容が盛り沢山でとても参考になりました。大谷様の体験・経験から生まれた使命感が伝わり、関西弁のユーモア溢れる言葉は分かり易く、自然と心に残りました。

また、中井様の講演では、笑い(ユーモア)が如何に大事かを学ばせて頂きました。また、どのように日常に取り入れていけば良いかを具体的に教えて頂いたので、とても分かり易く、充実した講演会でした。アドバイス頂いたように月曜日の全体朝礼では「ハイタッチ」を実施しています。皆が笑顔になり、周りの雰囲気の良いものを実感しました。

今回の2つの講演で学ばせて頂いた事は、少しでもお客様に喜んで頂けるよう満足して頂けるよう職場で活かしたいと思えます。また同時に家庭でも参考にさせて頂きます。

(総務部・酒井)  
(工事部・上沢)

## 総務部近況報告

最近、「健康経営」という言葉をよく耳にするようになりました。「健康経営」とは、経営者が従業員とコミュニケーションを密に図り、社員の健康に配慮することで職場環境の改善を実現し、組織の健康と健全な経営を維持しようとする経営スタイルです。

従業員の健康は、「家族」にとっても重要ですが、「会社」にとってもとても重要です。そこで、弊社は、今年の8月27日に「健康企業宣言」をし、これをきっかけに、総務部でも、社員の健康管理や健康づくりに積極的に関わっていきこうと活動を進めております。また、「認定」に向けても取り組むこととしております。

先日、当社主催の40周年講演と資質向上研修会で心の在り方の大切さを学びました。笑いが健康や心の豊かさにどれだけ影響しているかを知りました。再検査の受診を勧めたり、ストレッチを取り入れたりすることも大事ですが、心の健康づくりも大変重要です。その為にも、職場の雰囲気づくりを積極的に行いたいと思えます。

(総務部・酒井)



▲健康企業宣言証

## 秋の地域美化活動 富山城址公園



10月6日(土)朝8時集合で社員と協力業者の方々に参加し、今年2回目の地域美化活動を城址公園周辺で行いました。

当日は天候も良く清々しい秋晴れとなり、とても気持ちの良い穏やかな風の中で環境整備を行いました。落ち葉が多く、竹ぼうきで掃きましたが、風が吹く度に落ち葉が降り注ぎ掃くのは大変でした。綺麗になった城址公園周辺を見て心も清々しくなりました。

これからも社会貢献として美化活動に貢献したいと思えます。



(工事部・上沢)





## 北海道胆振東部地震より



9月6日(木)午前3時7分、突然北海道を襲った胆振東部地震。妻の実家が震源地から25kmほど離れた苫小牧市で、居てもたってもいられず、10日後に現地に8ヶ月の子供を連れて妻と3人で行ってきました。千歳空港に降りた瞬間、今までとは違う違和感を感じました。空港のテナントがほとんど閉まっていて、街に出ても修学旅行の子供の姿が一人も見当たりませんでした。

妻の実家に着いて、家族の元気な顔を見て安心しました。話を聞いたところ、電気が止まったのが一番つらかったそうです。携帯電話の充電も出来ないで、市役所に行って並んで充電したとの事。また、懐中電灯と単一の乾電池がどこに行っても品切れだったそうです。

そのような状況の中での洞爺湖の花火が印象的でした。観光に来られたお客様のために期間限定で毎日花火が上がっていたのですが、地震後花火を上げるべきか検討されたそうです。観光に来られたお客様のため、そして地元の方々が元気になるのであれば、と願って地震後も毎日花火が上がっていました。

人と関わることで元気になれる。私も電気工事をさせて頂いて出来ることは何かを考えさせられました。最近では、家庭用燃料電池エネファームの停電時あんしん発電や、太陽光の電力買取りが来年10年を迎えて買取り単価が下がるため、家庭用蓄電池の普及が見込まれています。自分自身、電気の有難さはあまり感じておりませんが、これからはお客様に安心して暮らして頂く為に新たな省エネ技術を学んでいきたいと思いました。

(工事部・小柴)



▲タービン火災などで緊急停止し、大規模停電の引き金になった苫東厚真火力発電所



▲酪農家の方は断水で牛の飲み水の確保に追われました(安平町)



▲4月末~10月末まで毎日行われる洞爺湖ロングラン花火大会の様子

※写真：苫小牧民報、洞爺湖町HPより



## 富山県の災害 過去と現在 地震、水害、台風



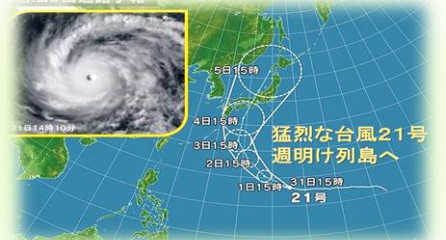
▲越中安政大地震(飛越地震)

安政5年、越中・飛騨の国境近くを震源とする大きな地震が発生。平野部への大きな被害だけでなく、立山山中の大崩れがさらに被害を大きくした。これにより土石流が発生し、常願寺川の大洪水を起こして下流域を泥の海にした。



▲昭和9年の水害(新港町内江柱町)

昭和9年7月12日、3日前から降り続いた雨が激しさを増し、黒部川の最大高水位が7m27cm、庄川の最大高水位が13m10cmとなり、堤防が決壊して濁流が下流の町村に侵入した。射水郡(当時)の大半は洪水と化し、黒部川付近の7村で浸水。全滅に近い状況になる地域もあった。県内主要河川で堤防が決壊し、甚大な被害を生んだ。



▲今年9月7日に富山県に接近した台風21号

▲25年ぶりの非常に強い台風21号の影響で、県内の多くの交通機関が運休し、学校は臨時休校、商業施設は屋過ぎからの閉店が相次いだ。停電被害は約380戸となり、奥西地区では高齢者が自主避難した。

▲写真：富山市立図書館「災害にみる富山」より



## 近況報告 越中八尾おわら風の盆



▲富山市八尾町では毎年9月1日から3日にかけて「越中八尾おわら風の盆」が行われます

人口2万人ほどの街に3日間で25万人近くの見物客が訪れ、幻想的な踊りや雰囲気、胡弓と三味線の音色に魅了される越中八尾おわら風の盆は、八尾に暮らす人々が大切に守り、育てて来た民謡行事です。

私の子供は小学生で、おわらの踊り手として当日屋の町流しと輪踊り、舞台発表に参加しました。また私の地区では、小学生は8月のお盆過ぎから1週間、おわら練習を行います。練習では若者たちが笑顔と思いやりで子供のおわら練習を指導します。おわら当日には子供たちの面倒を見ながら自分達の踊りを披露します。

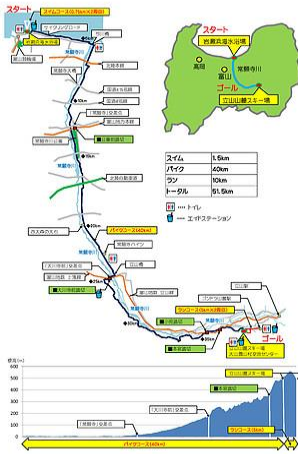
そのような若者たちの姿を見て、子供たちが将来そうなりたいと思い、育つことを願っています。

人から人への伝統文化の継承が繋がる素晴らしさを知り、これからも大切に関わっていきたく思います。



(工事部・大山)

# 近況報告 いきいき富山トライアスロン2018に出場しました



私は8月5日に開催された「いきいき富山トライアスロン2018」に出場しました。コース概要は岩瀬浜で1.5kmの水泳→岩瀬浜から極楽坂スキー場まで40kmの自転車→スキー場のグレンデで10kmのマラソン(ランパート)計51.5kmとなっています。レース当日は37.5℃という高い気温の中、約400人の選手が参加しました。私は無事ゴールすることができ、タイム・順位は3時間49分49秒で301位でした。たくさんの反省点や改善点がありますが、ゴールした時の達成感はこれまでの人生で一番大きかったと思います。また、今回完走できたのは工事部の佐伯君、協力業者の伊藤電気さんが応援に来てくれたおかげだと思っています。2人が来てくれたことで最後まで頑張れたと本当に感謝しています。普段運動をされない方もスポーツの秋ということでランニングやサイクリングなど、気軽に始められることがたくさんありますので是非チャレンジしてみたいと思います。こんな私ですがこれからも仕事面におきましても色々なことにチャレンジしていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

(企画部・高橋)



## 当社は毎週月曜日に全体朝礼を行っています。その時の社長からのひと言をご紹介します。

7月23日  
TGC2018富山  
(東京ガールズコレクション)

7月21日に富山市総合体育館で行われた「東京ガールズコレクション2018」が凄く反響があったと聞きました。この企画には北陸銀行の行員の方が大きく関与され、東京の関係者に折衝して、富山県・富山市にも共催して頂いて盛大に盛り上がったそうです。ファッションショーで着ていた服が富山駅前のショップや小矢部アウトレットに行けば売っている事を知り、地域創生のために尽力されていることに改めて感心しました。我々も知恵を出し合って、良いアイデアを出したいものです。そのためには、何でも話せる職場環境や雰囲気作りが大事だと思います。

8月6日  
花火大会

毎年、我が家は8月1日の納涼花火大会は神通川河川敷まで歩いて行って、シートを敷いて花火大会を楽しんでいます。妻の作った弁当を食べ、ビールを飲みながら寝転んでうとうとしながら花火を見ていると、何ともいえず至福のひと時を感じました。ふと、人の幸せとは何だろう?もしかしたらこの些細な至福のひと時がたくさんあることが幸せなのかもしれないと思いました。皆さんも至福のひと時を少しでも増やしてください。

8月27日  
24時間テレビ

41年間続いている「愛は地球を救う」の昨年の募金が7億円、これまで寄贈した福祉車両は203台。テレビというメディアを使い、プロデュースした人の社会貢献は本当に素晴らしいと思います。実は、それをやろうとGOサインを出したのが、当時日本テレビ社長の小林興三氏です。この方は、富山県射水市出身です。この方の社会貢献は同じ富山人として誇りに思います。

10月1日  
メンタルコーチ

先日、飯山暁朗様の講演を聞きました。飯山様は平昌五輪金メダリストの高木菜那・美帆さんや高岡商業・石川の星稜高校のメンタルコーチをされています。目標実現には脳の法則があるそうです。①わくわくチャレンジする事 ②「思い」よりも言葉を変える。言葉にする。③自分の為よりも誰かの為に意識する事が重要だと教わりました。自分の気持ちやどう持っていくか、どうしたいか。日頃から意識していくことの重要性を学びました。皆さんも意識してください。

## 社長よりご挨拶

各位には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。当社はお取引先にお役に立つ、信頼される企業を目指しております。そのためには強いチーム力が必要不可欠です。朝礼時には社員に情報の共有化を図ると共に、興味心そして感濃度を高めてもらいたいと思ひ話をしております。また本誌「新栄だより」はお取引先との大きな絆となるよう発行しており、本誌は第24号となりました。今後とも社員共々、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

(取締役社長・折橋)

株式会社新栄電設

発行元

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL: 076-491-5113 FAX: 076-491-5118  
(編集・校正: 上沢・大山・酒井・盛田・高橋・小柴・津幡・松永・OB小林さん)

2018年10月23日発行